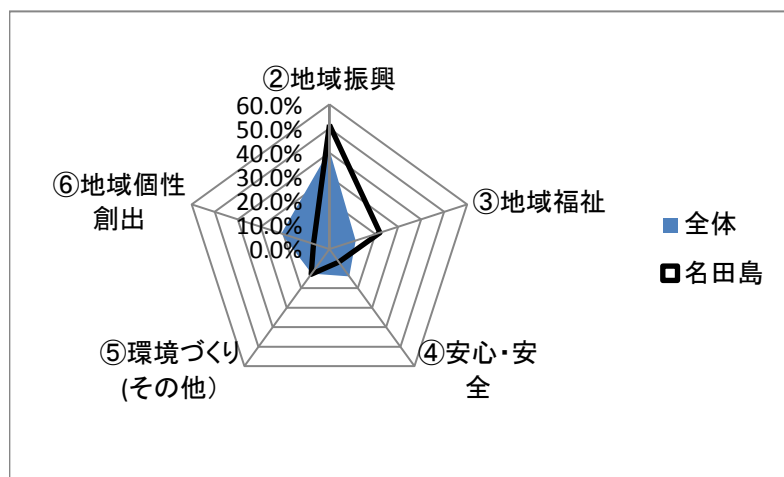


名田島自治会連合会 地域づくり交付金事業概要(平成28年度)

■ 地域の情報

地域人口	1,257人	自治会数	13
世帯数	483世帯	自治会加入率	91.93%

※数値は、平成29年4月1日のもの



■ 決算状況

交付金配分枠	7,967,000 円
交付金決算額	7,967,000 円
その他収入	20,201 円
交付金決算額/配分額	100.0%

各分野の決算

①協議会運営	4,120,043 円
②地域振興	1,120,310 円
③地域福祉	478,098 円
④安心・安全	143,865 円
⑤環境づくり(土木工事)	1,694,000 円
⑤環境づくり(その他)	279,738 円
⑥地域個性創出	151,147 円
決算総額	7,987,201 円

■ 地域づくりの活動方針(テーマ)

会員や委員からの意見や提案を積極的に取り入れ、「第2次名田島地区協働・福祉のまちづくり計画」を推進します。

■ 総括

「第2次名田島地区協働・福祉のまちづくり計画」を推進するため、自治会長や各団体代表者参加の運営委員会・委員会をほぼ毎月開催するなど、自治会活動についての情報共有、情報交換を行いました。人口減少の中、定住促進につなげるためホームページの拡充、Facebookの定期更新など情報発信に努め、車座トークについても定住促進をテーマに地域住民で考え、市と意見交換を行いました。小学校グラウンド芝生化も3年目に入り、適正な管理を行い、交流イベントの実施など利用者も増えてきています。地元講師による「名田島ふるさと大学」も4年目を迎えて多くの参加者がありました。懸案であった「ふるさとめぐりマップ」の改訂版を作成し配布しました。道路環境整備の推進、地域全体での防災訓練を実施しました。また、ラジオ体操や全13集落を巡回する健康相談を実施し、健康づくりにも力を入れるなど、様々な分野に取り組むことができました。

■ 分野別事業名

① 協議会運営	事務局の運営(事務局長:1名 事務員:2名)、事務費の活用
② 地域振興	名田島のPR事業、一集落一事業、イベント補助
③ 地域福祉	世代間交流事業、健康増進活動補助、こども健全育成事業補助
④ 安心・安全	地域防災活動(防災訓練・視察研修)の促進
⑤ 環境づくり	土木工事(法定外公共物)、土木工事(単市土地改良)、地域環境美化
⑥ 地域個性創出	ふるさと再発見・ふるさと大学の開講、小学校グラウンド芝生化推進事業

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	名田島のPR事業	決算額	446,810円
	目的	名田島の情報を共有し、良さを地区内外にPRしていきます。		
	実施内容	広報誌「田園」の発行や自治会ホームページの更新により、自治会活動等を地区内外に発信しました。また、導入したiPadを活用し、Facebookにより、名田島の行事や原風景をリアルタイムに発信し、利用者(お友達)の拡大に努めました。		
	実施時期	通年		
	参加人数	地区内外多数		
	成果	広報誌「田園」や自治会ホームページを画像中心の見やすい内容とし、ホームページの閲覧件数も増加しました。またFacebookも更新し、若者を中心とした世代にも名田島の良さ、行事や情報を発信することができ、Facebookのお友達も増加しました。		
	評価	名田島の行事や地域資源、自然の豊かさなど情報発信することにより、地区内外の若者にも知ってもらい、行事参加者の増加および郷土愛の醸成が図られ、定住促進のきっかけづくりにもなっています。		
今後に向けて	更なる内容の充実に努めていきます。			
②	事業名	一集落一事業	決算額	240,000円
	目的	単位自治会の活性化や交流促進を図ります。		
	実施内容	単位自治会が新たに行う自主的な活動に対して、その経費の一部を助成しました。		
	実施時期	8～3月		
	参加人数	12自治会		
	成果	今年度は12自治会が実施しました。内容も各家庭のお宝を持ち寄っての展示会や三世代交流の夏祭り、防災意識啓発など多方面にわたり実施されました。		
	評価	3年目の事業で、多くの好評の声をいただき、自治会活動の活発化につながりました。		
今後に向けて	次年度も継続していきます。			
③	事業名	小学校グラウンド芝生化推進事業	決算額	93,383円
	目的	芝生化された小学校グラウンドの適正な管理を行うとともに、利活用を図り、運動の促進や地域コミュニティの醸成を図ります。		
	実施内容	地域住民のボランティア芝生管理グループ「名田島しばもり隊」により芝刈り、施肥、草取り等の芝生管理を行い、地区民体育大会等を実施しました。		
	実施時期	通年		
	参加人数	延べ2,700人		
	成果	芝生の管理を適正に行うことができ、また地域の一大イベントである地区民体育大会、三世代交流グラウンドゴルフ大会が芝生で実施でき、多くの地域住民が芝生の感触を楽しみながら交流を図ることができました。放課後もサッカー練習などで利用されました。		
	評価	芝生化して3年弱が経過し、芝生も順調に管理でき、また利活用も参加人数が増加し、運動の促進や地域住民同士の地域コミュニティの醸成につながりました。		
今後に向けて	今後も適正な管理に努め、地域住民の交流の拠点となるよう更なる利活用を図っていきます。			